

A4 1 頁
余白: 上 35mm, 下 30 mm,
左右 25 mm

演題はゴシック
14 point

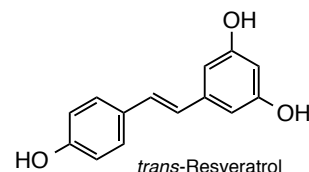
発表者に○
明朝または MS 明朝
11 point
基本は1段表示
人数が多い場合は 2 段

植物由来配糖化酵素による機能性配糖体の合成

(¹岡山理大理, ²大分大医, ³山口大農)
○濱田博喜¹, 松本匡弘¹, 下田 恵², 小崎紳一³, 中山 亨³

1 行あける
(改行幅 1 行)

【目的】我々は、植物体から誘導した未定形の細胞集団（カルス）が有する生体触媒としての機能解明に関する研究を重ねてきた。これまでに、我々は、植物カルスによる立体選択的還元反応、鏡像体選択的酸化反応、および、位置選択的水酸化反応について報告してきた¹⁾。．．．．．今回、我々は、ヨウシュヤマゴボウ由来の糖転移酵素（*PaGT3*）の発現と精製、さらに、*PaGT3* を用いたレスベラトロール（右図）の物質変換について報告する。



本文：
明朝または MS 明朝
11 または 10.5 point
改行幅 1 行

References:

- 1) K. Ishihara, H. Hamada, T. Hirata, N. Nakajima, *J. Mol. Catal., B: Enzym.*, **23**, 145 (2003).